

【研究報告Ⅰ】

分科会②

児童生徒が主体的に学ぶ  
道徳の授業づくり  
～問題解決的な学習～

発表者：尾道市立美木中学校 教諭 浮田 裕人  
運営者：三次市立甲奴小学校 教諭 高下 美恵

説明の流れ

- 1 はじめに
- 2 主体的に学ぶ道徳の授業について
- 3 問題解決的な学習について
- 4 道徳の時間における問題解決的な学習について
- 5 実践事例

1 はじめに

学習指導要領 第1章 総則  
第1 教育課程編成の一般方針

学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、児童に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。

1 はじめに

学習指導要領 第1章 総則  
第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

2(2) 各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。

1 はじめに

グローバル化する21世紀の社会を生き抜くための新しい教育モデルの構築  
広島版「学びの変革」アクション・プラン

グローバル化する21世紀の社会を生き抜くための新しい教育モデルの構築  
広島版「学びの変革」アクション・プラン

「学びの変革」の目的は、児童生徒が主体的に学び、自ら学び、自ら表現し、自ら創造する能力を育成することである。

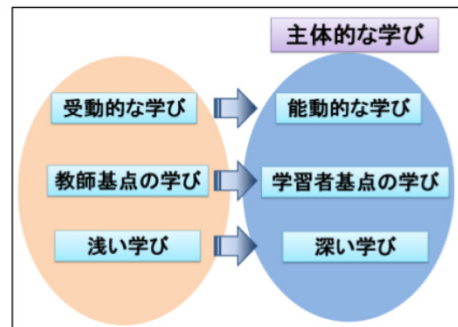
「学びの変革」の方向性として、以下の3点を掲げる。

1. 知識・技能の習得・定着を重視する
2. 基礎的・基本的な知識・技能の習得・定着を重視する
3. 主体的・協力的な学習活動を重視する

「学びの変革」の実現に向けて、以下の3つの視点から取り組んでいく。

1. 知識・技能の習得・定着を重視する
2. 基礎的・基本的な知識・技能の習得・定着を重視する
3. 主体的・協力的な学習活動を重視する

1 はじめに



2 主体的に学ぶ道徳の授業について

小（中）学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編  
第3節 指導の配慮  
3 児童（生徒）が主体的に道徳性を養うための指導

（「第3章 特別の教科 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2）  
 (3) 児童（生徒）が自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう工夫すること。その際、道徳性を養うことの意義について、児童自らが考え、理解し、主体的に学習に取り組むことができるようにすること。また、発達の段階を考慮し、人間の弱さを認めながら、それを乗り越えようとしてよりよく生きようとすることよきについて、教師が生徒と共に考える姿勢を大切にすること。

（「また」以降は中学校に記述）

2 主体的に学ぶ道徳の授業について

自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりするために

- 学習の始めに児童自らが学びたいという課題意識や課題追究への意欲を高め、学習の見通しなどをもたせる。
- 教材や児童の生活体験などを生かしながら、一定の道徳的価値に関わる物事を多面的・多角的に捉えることができるようにする。
- 理解した道徳的価値から自分の生活を振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりする。

2 主体的に学ぶ道徳の授業について

そのためには、

- 道徳的価値や児童自身の生活について多様な観点から捉え直し、自らが納得できる考えを導き出す上で効果的な教材を選択する。
- 教材の特質を生かすとともに、一人一人が意欲的に主体的に取り組むことができる表現活動や話し活動を仕組む。
- 学んだ道徳的価値に照らして、自らの生活や考えを見つめるための具体的な振り返り活動を工夫したりする。
- 必要に応じて、授業開始時と終了時における考えがどのように変わったのかが分かるような活動を工夫する。

2 主体的に学ぶ道徳の授業について

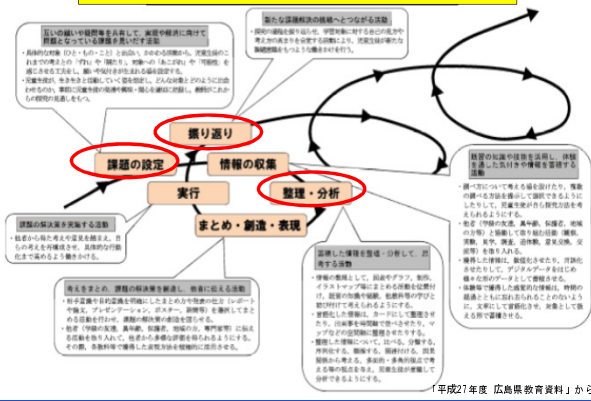
主体的に学習に取り組む工夫

道徳的価値の理解を基に自己を見つめるなどの授業を行った場合には、児童が道徳的価値を自分との関わりで捉え、自らの将来に進んで生かそうとする姿勢をもてるような主体的な学習にすることが求められる。その際、児童が道徳的価値について主体的に考えることができるよう問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れるなど、教材に応じて効果的な学習を設定することが必要である。

（小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編  
第3節 指導の配慮  
3 児童（生徒）が主体的に道徳性を養うための指導）

3 問題解決的な学習について

「課題発見・解決学習」の過程（イメージ）



「平成27年度 広島県教育資料」から

3 問題解決的な学習について

特に充実を図ることが求められる点

【課題の設定】

児童生徒が自ら課題をもつことが大切

意図的な働きかけ

事前に児童生徒の興味・関心等を適切に把握し、これまでの児童生徒の経験や既存の知識等との「ずれ」や「隔たり」を感じさせたり、対象への「あこがれ」や「可能性」を感じさせたりする工夫が必要

特に充実を図ることが求められる点

〔整理・分析〕

× 収集した情報をそのまま模造紙に書き写して発表  
(児童生徒の思考, 判断する場の不足が課題)



収集した情報を比較したり, 分類したり, 因果関係をとらえる等の視点を状況に応じて教師が児童生徒に示し, 児童生徒の思考する活動を促す取組が必要

特に充実を図ることが求められる点

〔振り返り〕

「めあて」に対応した「まとめ」を行う。



できたか, できなかったという結果だけでなく, 「授業で習う内容は, こんな形で実社会とつながっている」「もっと〇〇について調べてみたい」といった思いを見  
児童生徒にもたせるようにする。

「課題発見・解決学習」において求められるもの

- ア 言語活動の充実
- イ 体験的な学習の充実
- ウ 知識・技能を活用する学習活動の充実
- エ 協働的な学習の充実

道徳の時間における問題解決的な学習に求められている姿

- ① 道徳的(道徳上の)問題を
- ② **自己の問題として捉え,**
- ③ その解決を目指す学習であり,
- ④ 道徳科の目標の実現やその時間のねらいに資する学習

柴原 弘志(2015) 「道徳教育9月号」 明治図書出版

道徳の時間の特質から考えらえる問題とは

○ 道徳的実践力を育成するために行う道徳的価値の自覚について言えば・・



子供一人一人が「ねらいとする道徳的価値について自分はどう  
ような状態にあるのだろうか」と考えること

例: 「向上心について自分はどうような状態なのか」  
「公德心はどうだろうか」

赤堀博行(平成26年)「初等教育資料9月号」東洋館出版社

道徳の時間の特質から考えらえる問題とは

○ 道徳的価値の自覚を深めるための道徳的価値の理解について言えば・・



<道徳的価値のよさを意図した場合>

例: 「友情のよさとはどのようなものなのか」  
「目標を達成したときの成就感とはどのようなものなのか」

赤堀博行(平成26年)「初等教育資料9月号」東洋館出版社

道徳の時間の特徴から考えらえる問題とは

- 道徳的価値の自覚を深めるための道徳的価値の理解について言えば・・・

↓

<道徳的価値の実現の難しさなどについて考えを深める場合>

例:「親切は大切なことであるが、なかなかできないのはどのような迷いがあるからだろうか」  
「つい度を過ぎてしまうのはどのような気持ちからか」

道徳の時間の特徴から考えらえる問題とは

- 道徳的価値の自覚を深めるための道徳的価値の理解について言えば・・・

↓

<道徳的価値に関わる多様な感じ方、考え方に  
出合わせることを意図して授業する場合>

例:「自分のよさを生かし伸ばすことについていろいろな思いにふれてみよう」  
「集団の一員として責任を果たそうとするときの多様な思いを考えてみよう」

### 1 [課題の設定]

意図的な働きかけ

事前指導 ……子供の実態を把握

#### 導入

- 個人的経験や具体的事例から道徳的価値を考える。  
「友達がいてよかったと思うのはどんな時？」
- 授業で取り上げる道徳的価値について考える。  
「あなたにとって思いやりとは？」
- 道徳的価値の本当の意味や意義を考える。  
「自由とはなんだろうか？」

授業のねらいに関連した道徳的問題に取り組むよう  
動機づける

### 2[情報の収集]→3[整理・分析]

既習の知識や技能を活用し、体験を通じた気づきや情報を蓄積する活動

蓄積した情報を整理・分析して、思考する活動

↓

展開 ……問題を追求し、解決を目指す

- 資料を基に児童生徒が児童生徒の経験やその時の感じ方、考え方を根拠にして、自分との関わりを基に考えられるようにする。
- 多面的・多角的に考えさせる。
- 自他の考えを整理・分析、比較して思考させる。

### 4[まとめ・創造・表現]→5[振り返り]

終末 ……まとめと発展

- 話し合った内容をまとめ、感想を述べ合う。  
「今日の授業でどのようなことを学びましたか。どのようなことを考えましたか。」
- 導入における根本的な問いに結論を出す。  
「授業を通して本当の友情は何だと思いましたか。」
- 今後の生活に道徳的価値を生かすように促す。  
価値の内面化から道徳的実践へ  
「今後の生活でどのように生かせるだろうか。」 等

### 発問の工夫について

・～はどんな気持ちか。…心情を問う発問

- ↓
- ・ここでは、何が問題になっていますか。
  - ・主人公はどうしたらよいだろう。
  - ・自分ならどうしたらよいだろう。
  - ・○○したら、どのようなことになるだろう。
  - ・このような時、どうしたらよいのでしょうか。
  - ・～したら、どうなると思いますか。
  - ・○○が、～したのはどうしてか。
  - ・～から何が分かるのか。
  - ・～のことをどう思うか。

5 実践事例

## 主体的に学ぶ道徳の授業

自らを振り返って成長を実感する  
課題や目標を見つける

課題意識・迫及の意欲  
多面的・多角的な捉え  
振り返り・自ら成長を実感  
これからの課題や目標を見つける

- 効果的な教材
- 主体的に取り組む活動
- 具体的な振り返り活動の工夫
- 授業前後の姿容が分かる

5 実践事例

## 主体的に学習に取り組むための工夫

問題解決的な学習

課題の設定

- 個人の経験・具体的な事例から
- 意図的に働きかける
- 価値の本当の意味や意義

整理・分析

- 経験や関わりから
- 多面的・多角的
- 整理・分析・比較

まとめ・振り返り

- まとめ、感想を出し合う
- 根本的な問いに結論を出す
- 今後に生かすよう促す

5 実践事例

### 実践事例①-A 課題の設定

「道徳的価値の本当の意味や意義を考える例」

安芸高田市立可愛小学校 第3学年  
主題名 かくさず正直に 1-（4） 資料名「まどガラスと魚」

6 学習の流れ

学習活動	主な発問 (○) 中心発問 (◎) 予想される児童の反応 (-)	指導上の留意点 (◇)
導入 1本時に学習することについて知る。	○「正直」ってどういうことだと思いますか。 ・うそをつかないこと ・本当のことを言うこと ☆今日は「どうして正直に行動することが大切なのだろう。」について考えていきます。	◇「正直」にする大切さについて発問し道徳的価値への課題意識をもたせる。
2資料を読んで話し合う。	○窓ガラスを割って夢中で逃げているとき、千一郎はどんなことを考えていたでしょう。	◇友だちが逃げたのを見て、いけないと思いつつもながらも勇気がない

5 実践事例

### 実践事例② 課題設定

「授業で取り上げる道徳的価値について考える例」

尾道市立美木中学校 第2学年  
主題名 きまりを守る 4-（1） 資料名「二通の手紙」

7 学習指導過程

学習活動	主な発問と予想される児童生徒の心の動き	指導上の留意点
導入 ■ 自己の持つ価値観を明確にする	○ あなたにとってルールとはどんなものですか。 ・なくてもよいもの。 ・規則に縛られている。 ・ないと困るが、人に迷惑をかけなければ破ってもいい。 ・みんなが気持ちよく生活するために必要なもの。	◎ 自己の持つ価値観を明確にするシート（タイプB）を利用。 ・質問紙に答え、自己の持つ価値を明確にする。
■ 資料を読む	範読	

5 実践事例

### 実践事例② 課題設定

「授業で取り上げる道徳的価値について考える例」

自己の持つ価値観を明確にするシート  
タイプB

Q1 あなたはルールを守っている。	大賛	まあまあ	あまり	全然
Q2 ルールは、面倒だと思っている。	大賛	まあまあ	あまり	全然
Q3 ルールは、必要だと思う。	大賛	まあまあ	あまり	全然
Q4 人に迷惑をかけなければ、場合によってはルールを破っても良い	大賛	まあまあ	あまり	全然
Q5 ルールを破ると、後味が悪い。	大賛	まあまあ	あまり	全然
Q6 あなたにとって、ルールとはどんなものですか。				

5 実践事例

### 実践事例③-A 課題の設定

「個人の経験や具体的な事例から道徳的価値を考える例」

庄原市立高野小学校 第4学年  
主題名 夢をかなえるために 1-（2） 資料名「いつかにじをかける」

6 本時の学習展開

学習活動	主な発問と児童の心の動き	支援 (○) と課題 (◇)
導入 1 途中で嫌になってしまった経験や想起する。 2 本時の問題を把握する	○ 自分でやろうと決めたのに、途中で嫌になってやめてしまったことや、やめたいと思ったことはありませんか。 自分で立てた目標をと中であきらめたいと思ったとき、どんな心でどうしたらいいか考えよう。	◎ 現在取り組んでいるマラソン大会の練習について想起させる。 ○ 誰にでもある弱い部分に着目させ、自分の課題としてとらえさせる。
展開 3 「いつかにじをかける」を読んで話し合う。 ① 厳しい練習でもがまんして走り続ける高橋選手はどんなことを考えていたでしょう。 ・もうやめたい。 ・つらい	○ 厳しい練習でもがまんして走り続ける高橋選手はどんなことを考えていたでしょう。 ・もうやめたい。 ・つらい	○ マラソン大会の練習をしている時の気持ちを思い出させ、共感的にとらえさせる。

**5 実践事例**

**実践事例③-B 展開**  
「自分との関わりを基に考えられるようにする例」

庄原市立高野小学校 第4学年  
主題名 夢をかなえるために 1-(2) 資料名 「いつかにじをかける」

③ 高橋選手が厳しい練習でもあきらめずに走り続けることができた	④ 高橋選手が厳しい練習でもあきらめずに走り続けることができたのはなぜでしょう。	⑤ ワークシートを友達と交換し、「にている」「いいな」「くわしく聞いてみた
---------------------------------	--	---------------------------------------

↓

**児童の反応**

- ・練習したことで生まれた自信
- ・周りの人のはげまし
- ・成長できた喜び

**5 実践事例**

**実践事例④ 展開**  
「自分の考えを整理・分析、比較して思考させる例」

福山市立駅家南中学校 第1学年  
主題名 いじめを許さぬ強さ 4-(3) 資料名 「わたしもいじめた一人なのに」

＜自分の考え＞	＜友達の考え＞
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の名前を大げさに書いたので</li> <li>・自分が悪かったから</li> <li>・自分が悪かったから</li> <li>・自分が悪かったから</li> <li>・自分が悪かったから</li> <li>・自分が悪かったから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水もあついでいじめを口でいじめた</li> <li>・いじめた</li> <li>・いじめた</li> <li>・いじめた</li> <li>・いじめた</li> <li>・いじめた</li> </ul>

● この時間での感想を書きましょう。

わたしもいじめた一人なのに... 友達はわたしをいじめた... 自分もいじめた... 自分もいじめた... 自分もいじめた...

**5 実践事例**

**実践事例④ 展開**  
「自分の考えを整理・分析、比較して思考させる例」

福山市立駅家南中学校 第1学年  
主題名 いじめを許さぬ強さ 4-(3) 資料名 「わたしもいじめた一人なのに」

**5 実践事例**

**実践事例①-B 終末—まとめと発展**  
「導入における根本的な問いに結論を出す例」

安芸高田市立可愛小学校 第3学年  
主題名 かくさず正直に 1-(4) 資料名 「まどガラスと魚」

**どうして正直に行動することが大切なのだろう？**

**5 実践事例**

**実践事例⑤ 終末—まとめと発展**  
「今後の生活に道徳的価値を生かすように促す例」

尾道市立美木中学校 第1学年  
主題名 愛校心 4-(7) 資料「二枚の写真」

**自己の持つ価値観を明確にするシート**

Q1 美木中学校は良い学校ですか。 大賛 まあまあ あまり 全然

Q2 良い学校とはどんな学校でしょうか。 ( )

Q3 美木中学校を良い学校にしたいですか。大賛 まあまあ あまり 全然

Q4 美木中学校を良くするために、あなたは何を心がけていますか。 ( )

**5 実践事例**

**実践事例⑤ 終末—まとめと発展**  
「今後の生活に道徳的価値を生かすように促す例」

尾道市立美木中学校 第1学年  
主題名 愛校心 4-(7) 資料「二枚の写真」

**価値観を明確にするシート**

Q1 美木中学校は良い学校ですか。 大賛 まあまあ あまり 全然

Q2 良い学校とはどんな学校でしょうか。 ( みんなが協力して生かしている学校 )

Q3 美木中学校を良い学校にしたいですか。大賛 まあまあ あまり 全然

Q4 美木中学校を良くするために、あなたは何を心がけていますか。 ( 学校のルールを守ると守る )

( 先生がその子の話を聞いてあげてくれる )

児童生徒が主体的に学ぶ  
道徳の授業づくり  
～問題解決的な学習～

ご清聴ありがとうございました。